

2020年3月23日

瀬戸市長 伊藤 保徳様  
瀬戸市教育長 横山 彰 様

瀬戸市教職員労働組合  
執行委員長 甲斐 雄彦  
〈連絡先〉瀬戸市八幡町 455 番地  
幡山東小学校気付  
TEL0561-82-4404



## 要請書

貴職におかれましては、日々公務ご多忙のことと存じます。日頃は、教職員と児童・生徒のために力を尽くしてくださり、ありがとうございます。

今回の休校措置で各学校は対応に混乱し、現場で対応する教員は疲弊しています。今後のコロナウイルスの感染拡大によっては、さらなる困難も予想されます。一般的なコロナウイルスの感染による不安だけでなく、重症化のリスクのある教員に対する取り組みも必要です。

小中一貫教育の実施に伴い、瀬戸市においては他の自治体以上に教職員に対する負担も大きいと考えます。

学校の再開にあたって、以下の点について貴職のお考えを3月中に文書でお示しくださるとともに、私たちの声を諸施策に取り入れていただきますよう要請します。

## 記

1. 教職員が健康で職務に専念できるように、長時間労働の根絶、心身のストレスの除去に支援をすること。
2. こまめな手洗い、咳エチケットなど感染予防の教育を充実し、マスク・消毒液の必要数を確保すること。
3. 新年度の通常の学習体制を整えるまで、各学校・教員の最大限の裁量による弾力的カリキュラム編成を保障すること。
4. 年度末、年度初めの重要な時期であるため、各学校の負担を十分配慮し、市教委主催の行事はじめ各種会合を縮小すること。また、今後長期化が想定されており年度の行事についても再検討を行うこと。
5. 「全国学力テスト」を中止し、財源をコロナ対策に回すことを国に求めること。  
また、瀬戸市においてはテストを実施しないこと。
6. 合理的な休校等の措置を行うためのガイドラインを示すこと。
7. 4月6日（月）の聖火リレーに伴う行事への参加・見学の自粛を各学校に求めること。
8. 休校に伴う各学校の教育内容の履修状況をつかみ、必要に応じて対策を行うこと。

以上